

平成 1 7 年 度
京丹後市一般会計 決算の概要

～ 決算規模・決算分析等・財政指標 ～

平成 1 8 年 8 月

京 丹 後 市

平成17年度 決算の概要

平成17年度決算の規模

▶ 会計別決算額

一 般 会 計	歳入決算額	316億2,949万円(⑩ 347億677万円)	前年度比	△8.9%
	歳出決算額	308億8,632万円(⑩ 338億328万円)	前年度比	△8.6%
〔 ⑩最終予算額 326億1,452万円(前年度繰越予算額含む) 〕				

歳入決算総額 316億2,949万円、歳出決算総額 308億8,632万円
歳入歳出を差し引きした形式収支 ⇒ 7億4,317万円の黒字

■実質収支額 5億6,146万円

(黒字に含まれる平成18年度への繰越財源 1億8,171万円を除く純繰越額)

※28事業 10億2,265万円の繰越

※一般会計ベース

(単位:千円、%)

区 分	平成17年度	平成16年度	差 引	増減率
歳入総額 ①	31,629,489	34,706,772	△ 3,077,283	△ 8.9
歳出総額 ②	30,886,321	33,803,279	△ 2,916,958	△ 8.6
歳入歳出差引額 ①-②=③	743,168	903,493	△ 160,325	△ 17.7
翌年度へ繰り越すべき財源 ④	181,707	266,832	△ 85,125	△ 31.9
実質収支 ③-④=⑤	561,461	636,661	△ 75,200	△ 11.8
単年度収支 ⑥	△ 75,200	636,661	△ 711,861	△ 111.8
積立金(財政調整基金) ⑦	250,448	328	250,120	76,256.1
繰上償還金(任意分) ⑧	50,181	0	50,181	皆増
積立金取り崩し額(財政調整基金) ⑨	0	0	0	0.0
実質単年度収支 ⑥+⑦+⑧-⑨	225,429	636,989	△ 411,560	△ 64.6

(参考)実質収支比率

$$\frac{\text{平成17年度実質収支額}}{\text{平成17年度標準財政規模}} = \frac{5\text{億}6,146\text{万円}}{184\text{億}8,646\text{万円}} = 3.0\% \quad (\text{⑩ } 3.5\%)$$

※一般的には3~5%程度が望ましいとされているため、適正規模の範囲内にあるといえる。

平成17年度決算の特徴(一般会計ベース)

◆京丹後市として初めての「通年ベース」での決算

平成16年度決算は、合併に伴う異例の決算であり、旧町及び一部事務組合の会計が平成16年3月末で打ち切り決算となり、平成15年度決算で処理されるべき出納整理期間中の未収・未払分も含んでいる。

これに対し、平成17年度決算は新市政による合併後初めての年間を通した本格的な予算編成に基づく執行となっている。

このため、平成17年度決算との単純な比較は困難であるが、歳入については対前年度比8.9%の減、額にして30億7,728万円の減、歳出については8.6%の減、29億1,696万円の減となった。

(減額の主な理由としては、歳入で旧町剰余金が20億2,971万円、歳出では旧町一時借入金25億1,000万円が減額したため。)

◆『行財政改革元年』と位置付け、本格的な行財政改革に着手

平成17年度は、新市政における「行財政改革元年」と位置付けて、平成17年10月に行財政改革推進計画(集中改革プラン)を策定した。

行財政改革推進計画で、平成21年度の決算規模を270億円程度とすることを目標としているため、年度途中の補正予算については緊急性や優先度等を考慮し、必要最小限の事業を実施するなど決算規模の縮小に努めた。

決算規模のスリム化を図るだけでなく、活力と魅力あふれるまちづくりを推進するため、産業振興、環境保全、安心・安全のまちづくりなど幅広い分野で新規事業にも積極的に取り組んだ。

◆台風23号等による災害復旧を優先的に実施

平成16年度に発生した台風23号等により未曾有の大災害に見舞われ、平成17年度では、被災者支援及び繰越した災害復旧事業を最優先で実施するため、歳出の全経費にわたり、可能な限り、その抑制・節減に努め、国府の支援をいただきながら全力で対応した。

◆地方債残高が約12億4千万円減少、基金残高が約8億円増加

景気の低迷が続き、市税が伸び悩むとともに、合併と機を同じにする国の三位一体の改革の影響で地方交付税等の経常一般財源が減少しているなか、台風23号等による大災害からの復旧経費が必要となるなど財政的に非常に厳しい状況であったが、地方債残高においては、高金利既往債の繰上償還や地方債の借入抑制に努めた結果、約12億4千万円減少することができた。また、基金についても奨学基金以外は取り崩すことなく、財政調整基金等に積み立てることができ、約8億円増加した。

▶ 主な歳入のポイント(一般会計)

(1) 市 税 52億8,807万円(⑩ 54億6,253万円) △1億7,446万円 前年度比 △3.2%
・個人所得割の減 13億6,239万円(⑩ 14億6,255万円) △1億16万円、△6.8%
合併に伴う旧町未収分の減

・固定資産税の減 25億8,921万円(16 26億7,583万円) △8,662万円、△3.2%

合併に伴う旧町未収分の減

・法人税割の増 2億9,104万円(16 2億1,589万円) 7,515万円、34.8%

企業収益の回復を反映し増収、修正申告等による増

※合併により16年度収入となった旧町未収分の関係で市税全体としては3.2%減少しているが、実質は約6,000万円、1.2%の微増となっている。

(2) 地方交付税 129億6,509万円(16 127億4,058万円) 2億2,451万円 前年度比 1.8%

・普通交付税 115億1,995万円(16 111億4,042万円) 3億7,953万円、3.4%

全国的に激減している中、合併に伴う算定替の特例、公債費算入額の増加等により増

・特別交付税 14億4,514万円(16 16億15万円) △1億5,502万円、△9.7%

(3) 市債 32億5,790万円(16 48億1,750万円) △15億5,960万円 前年度比 △32.4%

・臨時財政対策債 11億4,790万円(16 14億7,840万円) △22.4%

⇒ 地方債依存度 10.3%(16 13.9%)

⇒ 年度末市債残高 455億3,032万円(16 467億6,584万円) △2.6%

▶ 主な歳出のポイント(一般会計)

(1) 人件費 69億4,443万円(16 71億2,870万円) △1億8,428万円 前年度比 △2.6%

○職員給与 49億7,607万円(16 50億8,359万円) △2.1%

※職員数の削減(普通会計) 815人(16 849人) △34人、△4.0%

○市長等 4,785万円(16 3,632万円) 31.7%

※16年度は、年度途中就任(11ヵ月分)

○議員 1億8,149万円(16 1億4,962万円) 21.3%

※16年度は、年度途中就任(11ヵ月分)

○その他委員 2億5,889万円(16 2億4,699万円) 4.8%

(2) 投資的経費 49億7,850万円(16 51億4,460万円) △1億6,610万円 前年度比 △3.2%

○普通建設事業費 28億9,795万円(16 44億9,695万円) △15億9,900万円

前年度比 △35.6%

○災害復旧事業費 20億8,056万円(16 6億4,765万円) 14億3,291万円

前年度比 221.2%

※台風23号等で被災した施設等の復旧を最優先で実施したため、災害復旧事業費が大幅に増額している。また、普通建設事業費については、久美浜最終処分場整備、丹後半島清掃センターごみ焼却施設解体撤去、峰山庁舎大規模改修、小学校施設整備などの大型事業が終了したことに加え、災害復旧事業最優先による普通建設事業費の抑制により大幅に減となった。

(3) 一般行政経費 75億174万円(16 101億7,482万円) △26億7,308万円

(下記の扶助費を除く)

前年度比 △26.3%

※行財政改革推進計画に基づき大きく削減

(主なもの)

○物件費 42億6,144万円(16 46億9,277万円) △4億3,133万円

	前年度比	△9.2%
○補助費等	23億3,182万円(⑩)	49億8,431万円) △26億5,250万円
	前年度比	△53.2%
	※旧町未払分	25億7,428万円の減
○積立金	8億675万円(⑩)	3億1,293万円) 4億9,382万円
	前年度比	157.8%
	※平成16年度決算において健全な財政運営に努力した結果、財政調整基金及び減債基金に4億5,051万円を積み立てることができた。また、新たに子どもを守る基金(175万円)、観光インフラ整備等促進実行調整費基金(4,520万円)を創設した。	
(4) 扶 助 費	31億6,464万円(⑩)	28億1,811万円) 3億4,652万円
	前年度比	12.3%
	うち地域再建被災者住宅等支援補助金	2億4,990万円(⑩) 8,603万円) 1億6,387万円
	※台風23号の被災者支援事業費の増による	
(5) 維 持 補 修 費	1億9,129万円(⑩)	1億5,715万円) 3,415万円
	前年度比	21.7%
	※老朽化した建物の維持補修経費が増加、また、地域から要望の多い道路等の維持修繕経費が増加した。	
(6) 繰 出 金	27億6,006万円(⑩)	25億8,716万円) 1億7,290万円
	前年度比	6.7%
	※国保会計、浄化槽整備会計を除き、全ての特別会計への繰出金が増加した。	
(7) 公 債 費	53億4,566万円(⑩)	57億9,274万円) △4億4,708万円
	前年度比	△7.7%
	※減税補てん債借換分の減(平成7.8年度分)	

平成17年度に実施した主な事務事業(目的別)

総務費 ⑰決算額 34億3,653万円 (⑩ 36億8,269万円) 伸率 △6.7

組織・機構改革に伴う庁舎改修
 本庁舎自家発電機整備
 市勢要覧の作成
 丹後地区土地開発公社の用地費繰上償還
 網野庁舎改修
 総合計画・行財政改革推進計画の策定
 中国亳州市友好交流事業
 小西区多目的集会所建設
 衆議院議員選挙経費
 国勢調査経費
 地域振興基金・財政調整基金・減債基金の積立

民生費 ⑰決算額 75億1,388万円 (⑩ 73億3,210万円) 伸率 2.5

健康と福祉のまちづくり審議会の開催

精神障害者地域生活支援センターへの助成

外出支援サービス事業

生きがい活動支援通所事業

地域包括支援センター設置準備経費

児童医療費助成事業

放課後児童健全育成事業

地域再建被災者住宅等支援事業

衛生費 ⑰決算額 28億1,317万円 (⑱ 39億8,138万円) 伸率 Δ 29.3

アスベスト特別健康診断事業

医療対策審議会経費

バイオガス発電施設関連事業(繰越)

地球温暖化防止計画の策定

うみかぜ風力エネルギー普及モデル事業

峰山クリーンセンター改修

労働費 ⑰決算額 3,434万円 (⑱ 1億5,272万円) 伸率 Δ 77.5

社会人キャリアアップ推進事業

求人サービス事業

農林水産業費 ⑰決算額 18億7,559万円 (⑱ 19億1,175万円) 伸率 Δ 1.9

農業振興地域整備計画策定再編事業

茶生産振興対策事業

京野菜こだわり産地支援事業

京の田舎暮らし受け入れ対策事業

環境保全型農業普及・実証プロジェクト事業

農業総合地図情報システム整備事業

農業企業誘致特別対策事業

雪害支援臨時対策事業

経営体育成基盤整備・団体営基盤整備・農村振興総合整備事業による管内ほ場整備事業

有害鳥獣対策事業

浜詰漁港整備(地域水産物供給基盤整備事業)

商工費 ⑰決算額 12億2,885万円 (⑱ 11億1,306万円) 伸率 10.4

地域総合整備資金貸付事業

きものサミット開催事業

丹後観光協会連絡協議会助成

入湯税を活用した観光インフラ整備等促進実行調整費基金の創設

静御前関連観光施設整備事業

土木費 ⑰決算額 27億7,483万円 (⑱ 24億5,084万円) 伸率 13.2

合併特例債・過疎債・辺地債を活用した道路新設改良事業

近年稀にみる豪雪による除雪経費

急傾斜地崩壊対策事業

網野地区内水処理対策事業

都市計画マスタープラン策定事業
八丁浜シーサイドパーク整備
久美浜地内街なみ環境整備事業
市営住宅松岡団地整備

消防費 ⑰決算額 12億6,446万円 (⑱ 13億5,233万円) 伸率 △6.5

救急救命士養成経費
携帯電話からの通報を直接受信できる設備整備
高規格救急車
消防車両の更新(3台)
防火水槽整備(3基)
地域防災計画の策定
防災マップの配布

教育費 ⑰決算額 23億1,229万円 (⑱ 26億4,917万円) 伸率 △12.7

子ども安全パトロール車「にこにこカー」配備による学校安全対策事業
峰山小学校耐震診断調査事業
小中学校等緊急通報システム設置
黒部小学校アスベスト対策事業
市史編さん事業

災害復旧費 ⑰決算額 20億3,399万円 (⑱ 6億4,680万円) 伸率 214.5

16年度からの繰越も含め約20億3千万円の災害復旧事業を実施したほか、さらに3億6千万円を18年度へ繰越している。

公債費 ⑰決算額 53億4,566万円 (⑱ 57億9,274万円) 伸率 △7.7

既往債の元利金償還のほか、後年度の金利負担の軽減のため繰上償還を実施した。
年度内資金運用を健全に行った結果、前年度に引き続き、一時借入金の実績なし。

地方債及び基金の状況

▶ 地方債残高の推移(一般会計)

16年度末残高 467億6,584万円

17年度末残高 455億3,032万円 △12億3,552万円、△2.6%

⇒住民1人当たりの市債額(一般会計) 70.8万円(⑱ 71.8万円)

※全会計の市債残高 792億7,104万円(⑱ 800億3,580万円) △1.0%

⇒住民1人当たりの市債額(全会計) 123.3万円(⑱ 122.9万円)

▶ 基金残高の推移(一般会計)

16年度末残高 30億5,707万円

17年度末残高 38億5,375万円 7億9,668万円、26.1%

奨学基金以外は取り崩すことなく、財政調整基金に2億5千万円、減債基金に2億円、地域振興基金に3億円を積立

⇒住民1人当たりの基金額(一般会計) 6.0万円(⑩ 4.7万円)

※全会計の基金残高 50億8,025万円(⑩ 43億8,237万円) 15.9%

⇒住民1人当たりの基金額(全会計) 7.9万円(⑩ 6.7万円)

▶ 新たな基金の創設

○ 観光インフラ整備等促進実行調整費基金 (基金額 4,520万円)

・前年度入湯税実績額を参考として、基金を積み立て、観光関係団体等のニーズを把握し観光地として必要な魅力ある環境整備を推進していく。

※平成17年度3月補正予算で、16年度入湯税収入額の範囲内4,520万円を積立

⇒18年度以降に実施する観光施設整備事業等の財源としていく。(補正展開)

○ 子どもを守る基金 (基金額 175万円)

・児童等安全確保寄附金を元に、基金を積み立て、子ども安全パトロール車「にこにこカー」の配備を進めていく。

※平成17年度3月補正予算で、175万円を積立実施

主な財政指標

◆ 標準財政規模 ⑰ 18,486,462千円 (⑩ 18,050,198千円)

[用語解説]

その地方公共団体の標準的な状態で通常収入される見込みの経常的な一般財源を示すもので、地方公共団体が自由に使える財源の大きさをいう。その団体の標準的な税収入額(標準税収入額と地方譲与税等)と普通交付税額を合算したものの。

[分析]

普通交付税と国の三位一体の改革による地方への税源移譲で地方譲与税(所得譲与税)などが増えたため、前年度と比べて4億3,626万円増加した。しかし、市税などの税収は依然として伸び悩んでいるため財政状況が厳しいことには変わりありません。

◆ 財政力指数 ⑰ 0.358 (⑩ 0.341) ※3ヵ年平均

[用語解説]

地方税の収入能力、普通交付税に依存する度合いがどの程度かを示すもので、基準財政収入額を基準財政需要額で除して算出します。地方交付税を算定する基準となり、財政力指数が1.000に近くあるいは1.000を超えるほど財源に余裕がある団体といえ、1.000を超えると普通交付税の不交付団体となります。

〔分析〕

財政力指数は、0.341から0.358と若干よくなっているが、依然として収入より支出の規模のほうが多い財政状況であり、市税の徴収強化策や人件費をはじめとした支出の見直しなど行財政改革を一層推進する必要がある。

◆ 経常収支比率 ⑰ 94.9 (⑯ 93.9)

〔用語解説〕

その地方公共団体の財政構造の弾力性を測定する比率として使用されるもので、人件費、扶助費、公債費など歳出の経常経費の一般財源に市税、地方交付税、地方譲与税などの経常的な収入の一般財源がどの程度充てられるかを示すもの。経常収支比率は、70～80%の範囲内にあるのが標準的とされ、80%を超えるとその団体は財政構造が硬直化傾向にあるとされるため、経常的経費の抑制に努める必要がある。

〔分析〕

経常収支比率が、93.9%から94.9%と1.0ポイント上昇した。16年度は合併初年度の特別な決算であり、通常であれば15年度の収入であった地方税等が16年度で収入されたことが影響したものであるが、経常経費の更なる抑制・経常一般財源の確保が必要である。

◆ 起債制限比率 ⑰ 13.3 (⑯ 12.5) ※3カ年平均

〔用語解説〕

標準財政規模のうち、公債費(普通交付税が措置されるものを除く)に充てられたものの占める割合である。起債制限比率が20%以上になると一般単独事業などに係る地方債の発行が制限され、14%以上になると公債費負担適正化計画を作成するなど地方債の管理に配慮する必要がある。

〔分析〕

前年度から0.8ポイント上昇し、公債費割合が高まっているため、地方債の借り入れについては留意する必要がある。一方、総合計画に基づく各種事業に取り組む必要があることから、今後も起債制限比率は上昇していくものと見込んでいる。

◆ 実質公債費比率 ⑰ 16.8 (⑯ ー) ※3カ年平均

〔用語解説〕

平成17年度から導入された財政指標で、地方公営企業への繰出しや、債務負担行為などの準公債費も含めた実質的な公債費に費やした一般財源の額が標準財政規模に占める割合の3カ年の平均値のことである。

〔分析〕

17年度に導入されて初めての算定では、16.8となった。地方債許可団体への移行基準である18.0には至らなかったが、自治体の財政信用力を示し、起債の発行や許可・同意の新基準となる重要な数値であるため、この動向には十分注意する必要がある。